

令和2年度 第1回 城陽市立東部デイサービスセンター運営推進会議

出席者(委員) : 利用者家族 1名
 地域住民の代表 3名
 行政機関等職員 2名
担当職員 : 管理者 1名
意見徴収期間 : 令和2年9月1日～30日

新型コロナウイルスの感染予防に関する令和2年度第1回運営推進会議の開催について
城陽市高齢介護課に確認をすると当面、令和2年2月26日付けで城陽市高齢介護課より運営推進会議の対応についての通知と同様の取り扱いでよいと返答あり。

令和2年2月26日付城陽市高齢介護課より事務連絡として「新型コロナウイルス感染予防に関する運営推進会議の取り扱いについて」の通知あり。以下通知内容抜粋。

①運営推進会議について、新型コロナウイルス感染予防の観点から事業所判断により延期または中止としていただいて差し支えありません。なお、延期または中止とした場合は、当課宛にご一報願います。

②運営推進会議を延期または中止とする場合は、本来の運営推進会議を延期または中止とする場合は、本来の運営推進会議開催日時に合わせて、運営推進会議の委員宛に会議資料を郵送、FAX、電子メール等で送付していただき、情報公開や意見聴取に努めてください。

委員の皆様には8月26日に電話連絡をする。その後9月5日付に委員の皆様へ郵送にて会議資料(資料1:令和元年度 事業報告/資料2:令和2年度 事業計画/資料3:事業所の活動報告・事故及びヒヤリハット事故及び改善状況の報告/資料4:東部だより(3月号～8月号))を送付。その際に、意見徴収を行う。結果は以下のとおり。

意見聴取の結果

委員:毎月送付いただく東部だよりで、利用者の皆様の笑顔や、様々な行事への参加の様子などを拝見し活動の様子が手に取る様に伝わってきます。屋外庭園で見事に咲き誇ったひまわりにはエネルギーを頂戴しました。そして形に残していく取り組みには心温まるものがありました。

事業報告より

家族懇談会の開催での情報共有の取り組みは大切だと思います。1人で抱え込んで辛いことも、「話すこと」・「聞くこと」で気付きが生まれると思います。将来的には自主組織として育成し、職員の関り回数を減らしていく工夫も必要かと考えます。

人材の定着で、非常勤の方の退職が続いたことは残念です。スタッフの力は他に変えられないものです。利用者にとっても同じ人がいることが安心につながるはず。原因を明らかにし、改善できる場所は最善の努力をしていただきたいと思います。

事業計画より

新型コロナウイルス感染予防に、様々な工夫の中安全に取り組んでいただいていることに感謝します。今日まで積み上げてこられた様々な取り組みが実施できないことは残念です。利用者の皆様が満足していただけるよう創意工夫の取り組みを引き続きお願いします。

リスク回避の努力を引き続きしていただき、安心・安全なサービスが受けられるようご配慮いただきたい。

以上